

株式会社DNPプレシジョンデバイス三原工場温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社DNPプレシジョンデバイス 三原工場

(2) 事業所の所在地

広島県三原市沼田西町小原73番地の1

(3) 業種

2899 その他の電子部品・デバイス・電子回路製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成17年(2005)年度を基準年とし、平成17(2005)年度から平成32(2020)年度までの16年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成17年度	平成32年度	平成22年度	平成23年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂	147,968.14	133,171.33 10	133,361 9.87	144,529 2.32			
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン	80.02	72.02 10	97.77 -22.18	92.50 -15.60			
一酸化二窒素	103.63	93.27 10	89.66 13.48	86.71 16.33			
フロン類	16.20	14.58 10	16.20 0.00	16.20 0.00			
温室効果ガス 実排出量総計	148,167.99	133,351.19 10	133,564.63 9.86	144,725.14 2.32			
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	状況に応じた効率運転や投資を伴わない改善は随時実施しているが、削減効果の大きい投資を伴う削減テーマの進捗が遅れ、削減計画も遅れ気味である。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：製品面積 (m²)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成 年度	平成 年度	平成22年度	平成23年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂							
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 総排出量							
エネルギー消費 原単位 (原油換 算k1)			0.01388	0.01685			
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料の使用量削減	燃料の使用量を 1, 804 k l /年削減	吸収式冷凍機よりCOPのよい ターボ冷凍機へ更新する。
2	電気の使用量削減	電気の使用量を 605 k l /年削減	生産装置（オーブン）の熱排気を 有効利用し、オーブン給気へ再利用 させ、ヒーター電力を削減する。
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	不要物総発生量の削減	不要物発生量を年3%削減	材料の使用量削減 等
2	主材料の不要物発生率削減	主材料の不要物発生率を 年30%削減	良品率UPによる材料ロスの削減 再生基板の使用率向上 等
3	リサイクル化	リサイクル率80%	汚泥の有価物化 等

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。